



農業振興センターからのお知らせ

農村定住コーディネーターの事業開始

～神戸・里山暮らしの推進～

北区・西区の農村地域の人口は減少傾向にあり、空き家や耕作放棄地の発生が課題となっています。農村地域に新たな人を呼び込み、地域を維持・活性化していく取り組みとして、農村定住促進コーディネーター事業を開始しており、「農村定住相談ダイヤル」での相談受付を行っています。

農村地域の賃貸可能な空き家・農地の情報があれば、「農村定住相談ダイヤル」あてに情報提供をお願いします。

【概要】



1 業務内容

- (1) 里山暮らしを希望する都市住民からの相談受付・意向ヒアリング
- (2) 農村地域の賃貸可能な空き家・農地、世話人に関する情報などの収集
- (3) 定住希望者と地域とのマッチング
- (4) 定住後のフォロー
- (5) その他定住促進に資する業務

2 農村定住コーディネーター事業の事業者 (農村定住相談ダイヤルの受付時間)

北区： 淡河町地域振興推進協議会 専門部会
淡河の明日を考える会

電話：090-5464-0952

受付時間：木曜日 15 時～19 時

土曜日・日曜日 13 時～18 時

Email：move@ogo-machiken.com

※北区・農村定住促進コーディネーター事業の情報は『ウェブマガジン淡河』にて随時掲載されます。

<http://www.ogo-machiken.com/>

西区： 松本里づくり協議会 営業部門
松本NGKグループ

電話：070-1765-1156

受付時間：平日 10 時～17 時

土曜日・日曜日 10 時～12 時

Email：s.okui0427@softbank.ne.jp

⇒ 制度の詳細は、産業振興局農政部計画課までお問い合わせください。(電話:322-5353)

電気柵の危険防止について

「危険標識」をつけましょう！

7月に発生した、静岡県での自作の電気柵による死亡事故を受けて、農業振興センターでは急きょ、各農家あて、安全確認の注意喚起を行い、あわせて地域に存在する危険な電気柵の有無についての調査を行いました。

結果、電源装置、漏電遮断装置などの設置がない危険な電気柵の存在は確認されませんでした。

その一方で、危険標識がついていない電気柵の存在が指摘されました。

電気柵には、危険標識の設置が義務付けられていますので、必ず設置をお願いします。



※ 危険標識は、電気柵メーカーで購入することができますが、お分かりにならない場合は農業振興センターまでお問い合わせください。

(電話 975-6845)

「有害鳥獣対策研修会」を開催

8月31日(月)、32名のご参加のもと、農業公園で開催しました。市の有害鳥獣防止対策の説明のあと、県森林動物研究センターの畑先生に、イノシシ、アライグマの生態や防除方法などについて、わかりやすくお話いただきました。

(1)イノシシの生態

- ・雑食性 年に1回4～5頭を出産する。
- ・跳躍力は1～1.2m 嗅覚は犬以上。
- ・鼻の力が強く、60～70kgの物は持ち上げてしまう。
- ・行動圏は1.5km程度



(2)アライグマの生態

- ・雑食性 4～5月に3～5頭を出産する。
- ・手を器用に使い、木登りや泳ぎが得意。
- ・行動圏は4平方kmで、山と集落を行き来している。
- ・特定外来生物法による捕獲の場合、他の獣種と見分ける必要がある。タヌキは肩にラインがある。アナグマは白地の顔に黒のライン、ハクビシンは黒字の顔に白のラインが入っている。

(3)被害を防ぐためには

電気柵は常に通電しておく必要がある。動物にとって「居心地の悪い場所」でなければならない。

トピックス

市内大学生による収穫ボランティア

市の農業サポーター制度を活用して、8月26日から29日までの4日間、神戸学院大学の学生14名が、平野の印路にある神戸ワイン用ブドウ園で、収穫のボランティアを行ないました。

暑い中での初めての作業、初めは戸惑いの様子もありましたが、作業が進むにつれて、房の粒の選定なども、慣れた手つきで頑張っていました。



神戸学院大学ではボランティア活動支援室を設置し、様々なボランティア活動を実施しており、農業ボランティアもその一環として積極的に参画していただいています。

外国人留学生による観光農園のモニタリング

「神戸アグリインバウンド 推進プロジェクト」モニタリング調査を、9月1日（火）「神出観光ぶどう園」で実施しました。

神戸大学や神戸市外国語大学など、市内の留学生21人がモニターとなってぶどう狩りを行い、その後意見交換会を行いました。

今回は、英語、中国語など、5か国語でぶどう狩りの説明とルールを書いたチラシの配布や看板の設置、冷えたブドウとの食べ比べなど、外国人対応の環境整備に向けた試験を行いました。



参加者からは、種のないぶどうにびっくりしながらも、神戸のブドウのおいしさを存分に満喫したという声が多く寄せられました。

意見交換会では、「棚の下でゴザに座って食べるのは、日本的でよい。」「外国語の看板などがあればわかりやすい。」「テーブルとイスがあればもっとよい。」「雨でも体験できる仕組みがあれば。」

といった意見が寄せられました。

今後の取り組みに向けて役立てていきたいと考えています。



— 西区神出町 上北古より —

① 直売所がオープンしました

9月5日（日）、下池パークホールにおいて、上北古里づくり協議会の農産物直売所「きたこフレンズファーム」がオープンしました。

当日は好天にも恵まれ、多数の来賓者を迎え、盛大にオープン式が行われました。

地元産の新鮮野菜、米のほか、花き、ハチミツなど販売していますので、皆さま足をお運びください。



営業時間
土・日曜日
午前9時～11時

② 子ども会交流イベントが行われました

9月13日（日）、上北古里づくり協議会と、兵庫区子ども会連合会との交流事業、「日帰り農村体験」が開催されました。



当日は好天にも恵まれ、参加者の皆さんは、稲刈り・サツマイモ収穫体験など都会では経験することのできない貴重な体験を楽しんでおられました。

農業振興センター 短信

9月～10月のイベント

- 9/27(日) 「生野田んぼオーナー 稲刈り」
- 10/4(日) 「生野田んぼオーナー 脱穀」
(：北区道場町生野)
- 10/11(金) 「西区魅力発見ツアー」
(ピーナッツ、里いも、さつまいも掘り
：西区神出町 グランメール)
- 10/18(日) 「櫛谷町寺谷と西神南ニュータウンとの交流」
(稲刈り、さつまいも掘り : 寺谷)
- 10/25(日) 「田んぼ農りんピック」
(：西区神出町 グランメール)
- 10/25(日) 「道場町生野と御影山手自治会との交流」
(さつまいも掘り : 北区道場町生野)
- 10/25(日) 「ため池・田んぼ探検隊」
(ため池のかいぼりほか : 神出東)

